

| | |
|------------|--|
| 研究課題名： | 高齢者の急性腹症に対する外科的治療の有用性の検討 |
| 所属(診療科等)： | 公立昭和病院 消化器外科 |
| 研究責任者(職名)： | 小林祐太 (医長) |
| 研究期間： | 2024年12月9日 ~ 2026年12月31日 |
| 研究目的と意義： | 北多摩北部医療圏をカバーする救命センターである当院の患者層の特徴として、75歳以上の後期高齢者の患者が多い。虫垂炎、胆嚢炎、腸閉塞、上部下部消化管穿孔、外傷等といった「急性腹症」は多くの場合緊急手術が必要な疾患であり、このような高齢の患者さんの手術適応や治療方法の選択には特に注意が必要であるが、具体的な指針は未だ確立されていない。高齢者の急性腹症に対する外科治療の成績を改善させる因子について検討する。また治療に要する医療費についても、検討する。 |
| 研究内容： | <ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2014年1月~2024年6月の間に当院で急性腹症に対して手術を受けた患者さん ●利用するカルテ情報 診断名、身体所見、検査結果、手術記録、術後治療についての記録等 ●研究方法 対象患者の治療経過中のデータについて、後ろ向き観察研究を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院 |
| 問い合わせ先： | <p>【研究担当者】 氏名：小林祐太、秦正二郎 (消化器外科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月~金 9:00~17:00(祝・祭日を除く)</p> |